

# 薬物乱用のない 社会を

依存性や習慣性があり、中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚の作用を有する物として、覚醒剤、大麻、MDMA、コカイン、ヘロイン、向精神薬等があり、これらの取扱いが法令により禁止又は制限されています。

警察庁

# 規制されている主な薬物

## 覚醒剤

### ●形状・俗称等

主に無色又は白色の結晶性粉末ですが、氷砂糖のような結晶体のものもあります。俗に「シャブ」、「クスリ」、「S(エス)」、「スピード」、「白」等と呼ばれており、「ヤーパー」と呼ばれる錠剤型のものもあります。

### ●使用方法

覚醒剤の水溶液を注射する方法が一般的ですが、覚醒剤をアルミホイル上に載せて加熱したり、パイプを用いて加熱したりして気体となった白い煙を吸う方法などもあります。

### ●作用

神経を興奮させ、眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような感じになります。しかし、これは錯覚で、効果が切れると、激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われます。

覚醒剤は、特に依存性が強く、使用を続けると、“壁のしみが人の顔に見える”、“他人の話が自分の悪口に聞こえる”、“他人に狙われる”、“殺される”などといった幻覚や妄想が現れるほか、時には錯乱状態になって、発作的に他人に暴行を加えたり、殺害したりするなど、凶悪粗暴な行動をとることもあります。

また、一度に大量の覚醒剤を摂取すると、**急性中毒により、死に至る場合**があります。



結晶状の覚醒剤



錠剤型覚醒剤「ヤーパー」

## 大麻

### ●形状・俗称等

乾燥大麻（「マリファナ」、茶色または草色）、大麻樹脂（「ハシシ」、「ガンジャ」、暗緑色の棒状又は板状）、液体大麻（「ハシシオイル」、暗緑色又は黒色の油状）があります。

### ●使用方法

通常は、乾燥した葉等を、きざみタバコのようにして、キセルやパイプ等を使用して吸煙しますが、食物に混ぜて飲んだり食べたりすることもあります。

### ●作用

酒に酔った感覚や手足などに麻痺等が現れるとともに、視覚、聴覚、味覚、触覚等の感覚が鋭敏になります。また思考が分裂し、現在、過去、未来の観念が混乱して、感情が不安定になったりします。このため、**興奮状態に陥って、暴力や挑発的な行為を行うなど、無責任な衝動的行為を行う**ようになります。



大麻草



乾燥大麻

## MDMA

### ● 形状・俗称等

MDMAは、化学的に合成された麻薬であり、本来は白色結晶性の粉末ですが、様々な着色がされ、文字や絵柄の入った錠剤やカプセルの形で密売され、俗に「エクスタシー」、「罰」、「X (バツ、エックス)」等と呼ばれることもあります。



MDMA

### ● 使用方法

通常は、錠剤等を服用しますが、砕いて服用したり、注射や座薬的に使用されることもあります。

### ● 作用

幻影、幻聴、幻想など、視覚、聴覚を変化させる作用や、血圧や体温を上昇させるなどの興奮作用があり、強い精神的依存性があります。

## 向精神薬

向精神薬は、中枢神経に作用して、精神機能に影響を及ぼす物質で、その作用によって鎮静剤系と興奮剤系の2つに大別されます。

### ● 作用

向精神薬は、そのほとんどが医薬品として流通しているように、医療上有用ですが、医療目的から逸脱して使用すると、依存するようになり、中毒症状や使用の中断により、**心身への障害**が生じます。



向精神薬(トリアゾラム)

## 医薬品医療機器法に規定する指定薬物

「指定薬物」とは、中枢神経系の興奮、抑制又は幻覚の作用を有し、かつ人体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがある物として、厚生労働大臣が指定したものをいいます。

指定薬物及びこれを含有する物は、医薬品医療機器法(注)において、製造、輸入、販売、所持、使用、購入、譲受け等が禁止されており、平成29年5月1日現在、**2,362**種類の薬物が指定されています。

(注)正確な法律名は「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

**NO!**

## 薬物「運び屋」

### ⊗ 「運び屋」への誘いに乗らない

薬物犯罪組織等は、知人の紹介、元同僚、学校時代の先輩・後輩等、あらゆる人間関係を利用して「運び屋」になるように誘ってきます。

### ⊗ 違法な薬物には絶対に関わらない

薬物の「運び屋」は、重大な犯罪です。日本でも外国でも重い罪で厳しく処罰されます。

### ⊗ 不用意に他人から荷物やお土産を預からない

他人から預かった荷物でも、自分の携行品の中身については責任を問われます。「知らなかった」、「分からなかった」ではすみません。

# 薬物乱用の弊害と法規制

## 乱用者自身の精神・身体への弊害

覚醒剤を始めとする薬物の使用により、一時的に頭が冴える、神経が興奮するというような感覚を得たように感じられることがありますが、その後、脱力感や疲労感に襲われ、幻覚、妄想といった症状が引き起こされたり、常軌を逸した行動や発作的に半狂乱の状態になったりして、最悪の場合、死に至るなど、**精神と身体の両面が破壊**されます。

規制される薬物は、中枢神経系に作用することから、使用した時の快感を得たり、**薬物の効果が切れた時の苦痛などから逃れるため**、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。

また、薬物を繰り返し使用しているうちに**同じ量では効かなくなる**「耐性」が生じます。

「一度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、使用する量や回数はどんどん増えていくという悪循環に陥り、**自分の意志ではやめることができなくなります**。

さらに、使用するのをやめて長期間経った後に、突然、幻覚や妄想等の精神障害が現れる**フラッシュバック**（再燃現象）が起こることがあります。



注射痕

## 社会に与える弊害

規制薬物等を使用すると、その薬理作用から幻覚、妄想等の精神障害に陥り、殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪や重大な交通事故等を引き起こすことがあります。また、薬物の購入資金を得るための犯罪も発生しています。



放火



交通事故

## 薬物乱用に対する法規制

**薬物乱用は乱用者本人のみならず、周囲の人、更には社会全体に害悪を及ぼす重大な犯罪**です。

覚醒剤、麻薬等の使用、所持等は法律により厳しく禁止されており、違反した者には重い刑罰が科せられます。

### 罰則の例

#### ①覚醒剤の所持、使用…覚せい剤取締法

(単純) 10年以下の懲役

(営利) 1年以上の有期懲役 情状により500万円以下の罰金を併科

#### ②大麻の所持…大麻取締法

(単純) 5年以下の懲役

(営利) 7年以下の懲役 情状により200万円以下の罰金を併科

### 各種薬物事犯の検挙状況の推移(平成24年から28年)

区分		年次	24年	25年	26年	27年	28年
覚醒剤事犯	検挙人員(人)		11,577	10,909	10,958	11,022	10,457
	押収量	粉末(kg)	348.5	831.9	487.5	429.7	1,495.4
		錠剤(錠)	223	178	51	741	138
大麻事犯	検挙人員(人)		1,603	1,555	1,761	2,101	2,536
	押収量(kg)	乾燥大麻	301.8	161.5	165	101	133.1
		大麻樹脂	41.7	1.1	36.7	3.9	0.9
麻薬及び 向精神薬事犯	MDMA等 合成麻薬	検挙人員(人)	81	105	62	45	38
		押収量(錠)	3,674	2,135	479	1,055	5,021
	コカイン	検挙人員(人)	61	46	61	86	142
		押収量(kg)	6.6	119.6	2.2	18.5	18.3
	ヘロイン	検挙人員(人)	30	20	5	3	0
		押収量(kg)	0.1	3.8	0	2.0	0
あへん事犯	検挙人員(人)	6	9	24	3	6	
	押収量(kg)	0.2	0.2	0.2	0	0.7	

### 覚醒剤密輸入事件の検挙状況の推移(平成19年から28年)

区分	年次	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
検挙件数(件)		65	77	164	132	185	120	119	150	73	82
うち航空機利用によるもの		46	49	127	112	151	81	96	121	44	41
検挙人員(人)		90	97	219	158	216	170	160	176	96	97
うち暴力団構成員等		16	18	62	31	39	20	30	25	19	11
うち外国人		43	48	111	100	151	118	119	135	72	73

# 危険ドラッグの実態と法規制

## 危険ドラッグとは

危険ドラッグは、「合法ハーブ」、「お香」、「アロマ」等と称して販売されていますが、これらの商品を使用した人が、**意識障害、おうと、けいれん、呼吸困難等を起こして、死亡したり重体に陥る事件が発生**しています。

これらの商品は、**覚醒剤、麻薬、大麻等規制薬物の化学構造に似せて作られており、規制薬物と同等以上の作用を有する成分を含む商品も多く、大変危険**です。また、合法と称して販売されている商品の中には、**麻薬や指定薬物等の違法な薬物が含まれている例もあります**ので、絶対に手を出してはいけません。

危険ドラッグは、粉末(パウダー)、植物片、リキッド(液体)等、様々な形状で販売されています。

## 危険ドラッグの商品例



粉末(パウダー)



植物片



リキッド(液体)

## 危険ドラッグの販売方法

### ネット型販売



### デリバリー型販売



関係機関と連携した危険ドラッグの販売・流通ルートの壊滅に向けた取組や広報啓発活動等の強化により、**これまで実態が把握されていた販売店舗が全て閉鎖**となりました。

その一方で、薬物密売組織等は、**インターネットを利用して、危険ドラッグをはじめ、違法な薬物を販売している状況**にあり、その販売・流通ルートの更なる**巧妙化・潜在化を強めている**のが現状です。

## 危険ドラッグに対する法規制

危険ドラッグには、**麻薬や指定薬物等の違法な薬物が含まれている例もあり**、使用、所持等は犯罪となります。違反した者には重い刑罰が科せられます。

### 危険ドラッグ



**麻薬**  
検出

→

**麻薬及び向精神薬取締法違反**

麻薬(ジアセチルモルヒネ以外)の所持、施用  
7年以下の懲役

**指定薬物**  
検出

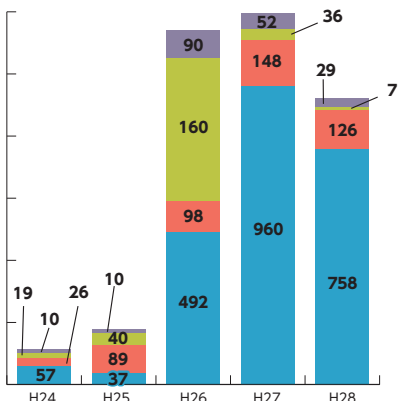
→

**医薬品医療機器法違反**

指定薬物の所持、使用  
3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金又は併科

## 危険ドラッグの検挙状況(平成24年から28年)

- その他法令違反
- 交通関係法令違反
- 麻向法違反
- 指定薬物に係る医薬品医療機器法違反

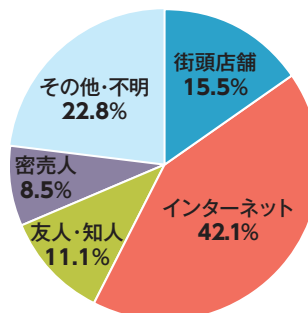


年別等 法令(罪名)別	24年		25年		26年		27年		28年	
	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員
指定薬物に係る 医薬品医療機器法 違反	34	57	21	37	401	492	895	960	713	758
うち乱用者による 単所持・使用等					312	326	671	695	495	519
麻向法違反	17	26	57	89	80	98	133	148	115	126
交通関係法令違反	19	19	38	40	157	160	36	36	8	7
その他法令違反	6	10	9	10	68	90	36	52	28	29
合計	76	112	125	176	706	840	1100	1196	864	920

※交通関係法令違反及びその他法令違反には、規制薬物及び指定薬物が検出されなかった事件を含む。

## 危険ドラッグ乱用者の検挙に係る入手先別(平成28年中)

	人員	割合
全体	838	
街頭店舗	130	15.5%
インターネット	353	42.1%
友人・知人	93	11.1%
密売人	71	8.5%
その他・不明	191	22.8%



※危険ドラッグ乱用者の検挙とは、危険ドラッグに係る検挙人員のうち、危険ドラッグを販売するなどにより検挙された供給者側を除いたものをいう。

# 薬物乱用の実態(薬物乱用者等の手記)



覚醒剤乱用者(30歳代、男性)

## ~心身だけでなく家族も不幸にする覚醒剤の恐ろしさ



**私** は、これまでに覚せい剤取締法違反で4回も逮捕されており、何年にもわたって刑務所に入っていた経験があります。

初めて覚醒剤で捕まってからというもの、刑務所を出所しては再び覚醒剤で捕まって刑務所に逆戻りする人生を繰り返しています。

軽い気持ちで覚醒剤に手を出してしまったことが全ての始まりでした。

私は、28歳のときに初めて本物の覚醒剤を目にし、それから少しして自分でも覚醒剤を使うようになりました。

当時の私は、暴力団組員と繋がりを持っており、その中の1人が頻繁に覚醒剤を使う薬物乱用者で、私の部屋に遊びに来ては覚醒剤を使う男でした。

はじめは、「何がそんなにいいのかな。」程度にしか思っていなかったのですが、その男の「ああ、いいな」などという言葉をしているうちに「自分もやってみたい。」と覚醒剤に興味を持つようになりました。

**そ** のうちに男から「お前もやってみないか。」と誘いを受け、私は違法な薬物だから絶対に手を出してはいけないという気持ちがある反面、どんな物かやってみたくてという好奇心も同時に持っていました。

その結果、やってはいけないと頭の中ではわかっているつもりでも好奇心が勝ってしまい、覚醒剤を使うことになってしまいました。

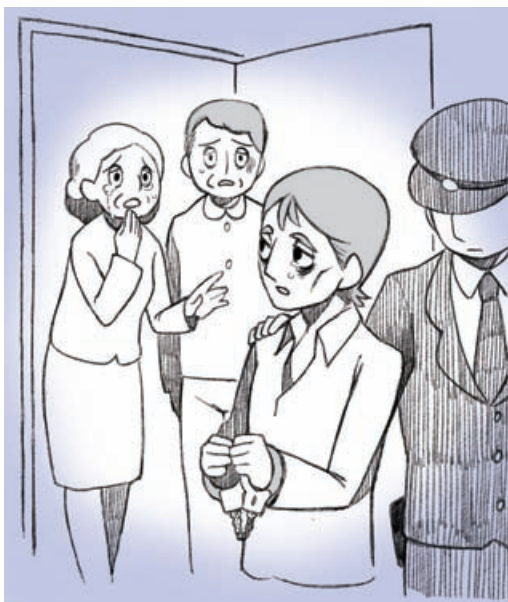
私が覚醒剤に手を出してからというもの、覚醒剤を手に入れるために密売人の足となって動いていた時期もあり、覚醒剤が生活の中心になっていました。

このときは、人付き合いも覚醒剤の繋がりばかりで覚醒剤から抜け出そうと考えることもありませんでした。

覚醒剤をやっているときは体も軽くなり、何でもできるという気持ちが出てくるのでとてもいい気分になるのですが、反対に覚醒剤が抜けてしまうと体が重くなり、何もできない気持ちになってしまいます。

そのため、すぐにいい気持ちに戻りたくなり、また覚醒剤を体に入れてしまいます。

当然、覚醒剤が効いているときは、食事を摂らないばかりか睡眠もあまりとらなくなるので見た目にも顔がやつれてきたり、体が痩せてきたりと、普通の日常生活を送る人とは明らかに様子は違ったはずで



**そ** して、私が覚醒剤を絶えずにいたところ、突然、警察が令状を持って自宅にきて、逮捕されてしまいました。

その時は家に親もいたため、親は私が逮捕されていくところを見ていましたが、とてもショックを受けた顔をしており、今でもその時の顔は覚えています。

私が逮捕されてからも自分の子供が覚醒剤で逮捕されてしまったことに対して、とても悩んだと思いますし、私も申し訳ない気持ちで一杯でした。

また、私が留置場にいるときも面会や差し入れ等面倒をみてくれたので、親にはたくさんの迷惑がかかっていたと思います。

それらのことを考えると覚醒剤は使った自分だけではなく、その周りにいる家族にもとても害のあるものです。

覚醒剤は心にも体にも負担がかかるので、今になって考えると私が覚醒剤にのめり込んでいたときは身も心もボロボロになっていました。

いつ捕まるかも分からないという不安から周囲に対して疑い深くなり、人を全く信用できなくなりました。

そんな状況で自分自身も周囲の人めっちゃくちゃにしてまで、覚醒剤を使う意味は間違いなくありません。

私は、もう二度とそんな覚醒剤に手を出さないと心に決めています。





覚醒剤乱用者（30歳代、女性）

## ～簡単には抜け出せない覚醒剤の負の連鎖



**私** が初めて覚醒剤に手を染めたのは、高校卒業後、間もないまだ10代のときでした。

この頃の私は、深夜飲食店でホステスをしていたのですが、覚醒剤をしている男性客に覚醒剤を勧められ、興味本位で覚醒剤水溶液を注射してもらったのが大きな誤りの始まりでした。

1回だけのつもりが、何度も繰り返していくうちにどっぷりとシャブの快楽に溺れてしまったのです。

もう止めよう、覚醒剤をしている人とは関わらないでおこうと、何度も自身に言い聞かせても、入れ替わり立ち代わり次々に覚醒剤を手にしたヤツらが私に近寄ってくるのです。

これが覚醒剤独特の連鎖です。

そうして目の前に差し出される白い粉の魔力に私は打ち勝つことが出来ずに再び覚醒剤に手を出してしまうという負の無限ループにはまっていたのです。

**し** んな私でも結婚という人生の転機を迎えることとなり、覚醒剤を断ち切って、妻として、母としていつか訪れるであろう妊娠、出産、子育ての喜びを思い描きながら幸せな夫婦生活を送ることになりました。

しかし、ヤツらは遠慮なく私の前に現れました。「私、結婚したから」と、口では何度も断りました。でも最後は負けてしまいました。

悪魔の白い粉に飲み込まれていきました。

そして最悪の結果が待ち受けていました。

覚醒剤を使用した罪で私とその仲間が警察に逮捕されたのです。

この事件はニュースや新聞記事として白日の下にさらされることとなりました。

初犯の私は執行猶予の判決を受け、早期に社会復帰しました。

しかし、いや当然でしょう、覚せい剤取締法違反という罪を犯した私に対する周囲の目、世間の待遇は冷たいものでした。

勤めていたアルバイト先には行けなくなりました。

夫から突き付けられた離婚届には、反論の余地なく、黙って判を押すしかありませんでした。



**私** は、瞬時に信頼、そして大切なものを失ってしまいました。これが覚醒剤に手を出した者に、突き付けられる現実です。

姓を変え、自宅を引き払い、全てを失い逃げるように実家に戻りました。

ここまで追い詰められても、なおヤツらは私に近づき、再び同じ穴に引きずり込もうとするのです。

これが本当の覚醒剤の恐ろしさです。

私は、逮捕されたことを機に、心から反省し、二度と覚醒剤に手を出さないと心に誓い、周囲の支えもあって今日に至っています。

これからもその意志を持ち続け、本当の意味で覚醒剤とは無縁の人となり、これから先の人生をこつこつ歩んでいきたいと思ひます。



大麻乱用者 (20代、男性)

## ～安易に手を出した大麻の代償



**私** が、薬物に手を出すようになったきっかけは、友達と先輩と遊んでいたときでした。

先輩がポケットの中から大麻を出し、「吸ってみる?」と言ってきて、最初は断ったのですが、大麻を見るとタバコのような葉っぱだったので、「これが大麻なのか。」「タバコと同じじゃん。」と思い、先輩の押しに負けて吸ってしまったのです。

それからの自分は、少しずつ大麻を吸っていくにつれて罪悪感がなくなっていったのです。

一緒に遊んでいる先輩から、「吸う?」と言われたら「はい。」と言って、大麻を吸うことが悪いことだと思わなくなり、生活の中で当たり前となっていったのです。

それどころか、自ら先輩に電話をして、大麻を購入するようになっていき、大麻を吸わない友達とは遊ばなくなっていました。

さらに、大麻を吸っていることを両親に知られなくなかった私は、次第に両親と会話をする時間が減り、距離をおくようになり、完全に周りが見えなくなっていたのです。

**仕** 事が終わったら大麻を吸い、友達や先輩が来たら大麻を吸うなど、完全に大麻に依存していたのです。

さらに、だんだんと仕事を手につかなくなってしまう、夜遅くまで遊んでは昼近くまで寝ているという、墮落した生活になっていました。

また、大麻を購入するお金がないときには、母親に嘘をついてまでお金をもらい、大麻を購入するようになっていました。

そんな生活が長く続くはずがありません。

突然、刑事さんたちが私の一人暮らしの家に来たのです。

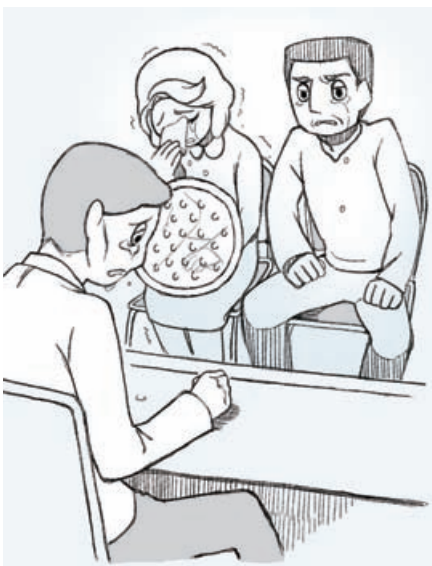
逮捕です。

私は、頭の中が真っ白になり、今ではこの時の記憶があまり残っていません。

気が付くと、留置場に座っていました。

刑事さんから、厳しさの中にも更生を求める期待の声をかけてもらい、両親の気持ちを代弁されたとき、だんだんと刑事さんの顔がにじみ、目から自然に涙が流れていました。

また、面会ができるようになった私に、一番に会いに来てくれたのが、私が裏切った両親でした。



**面** 会室に入ってくるなり、母はハンカチで目を押さえ、何も語らず、肩口がひくひくとしており、泣いていることが分かりました。

父は、私を睨みつけて椅子に座り、拳を力強く握りしめ、私から目を離さず、怒り狂っていることが分かりました。

この時、私は、間違いなく父から怒鳴られると思い、恐る恐る父の目を見たのです。

すると、父の目が涙で一杯になっていたのです。

父は、一言、声を震わせながら、「ばかたれが」と言ったのです。

私は、父の声を聞いて、涙が溢れ出し、「ごめんなさい。」と言い、頭を下に向けて声を出して泣いていました。

すると、父は、「一人で生きなくていい。みんなお前を待ってるぞ。全てを話して出てこい。」と言ってくれたのです。

私は、両親の温かさや、大麻という魔物から切り離すきっかけを作ってくれた警察に感謝しています。

今ではタバコすら吸うことを止めて、両親と一つ屋根の下に住み、両親が営む農業をしながら、野菜についての勉強を始め、日本一の農家になろうと心に決めています。

大麻と決別し、両親の笑顔とうれし涙を見るために。



# 薬物乱用問題に関する 相談電話

## 迷わず相談窓口へ

都道府県	名称	電話番号	都道府県	名称	電話番号
北海道	札幌 警察相談センター	011-241-9110	愛知	警察安全相談	052-953-9110
	函館 警察相談センター	0138-51-9110	三重	警察安全相談電話	059-224-9110
	旭川 警察相談センター	0166-34-9110	滋賀	県民の声110番	077-525-0110
	釧路 警察相談センター	0154-23-9110	大阪	覚せい剤110番	06-6943-7957
	北見 警察相談センター	0157-24-9110	兵庫	覚醒剤110番	078-361-0110
青森	警察安全相談電話	017-735-9110	京都	覚醒剤110番	075-451-7957
岩手	警察安全相談電話	019-654-9110	奈良	覚せい剤110番	0742-33-1818
宮城	銃器・覚醒剤110番	022-266-1074	和歌山	覚せい剤相談電話	073-425-4615
秋田	警察相談専用電話	018-864-9110	鳥取	薬物110番	0857-26-3774
山形	覚醒剤相談	023-635-1074	島根	覚せい剤相談電話	0852-27-4697
福島	警察安全相談	024-525-3311	岡山	覚醒剤110番	086-233-7867
東京	銃器・薬物ホットライン	03-3593-7970	広島	覚せい剤・麻薬相談電話	082-227-4989
茨城	覚せい剤110番	029-301-7979	山口	総合相談室	083-923-9110
栃木	覚せい剤110番	028-624-0919	徳島	覚醒剤追放ダイヤル	088-653-4444
群馬	警察安全相談	027-224-8080	香川	警察総合相談電話	087-831-0110
埼玉	けいさつ総合相談	048-822-9110	愛媛	警察相談専用電話	089-931-9110
千葉	相談サポートコーナー	043-227-9110	高知	銃器薬物相談電話	088-822-1074
神奈川	警察総合相談	045-664-9110	福岡	薬物110番	092-641-4444
新潟	けいさつ相談室	025-283-9110	佐賀	警察相談室	0952-26-9110
山梨	薬物110番	055-228-8974	長崎	薬物110番	0120-110-874
長野	警察安全相談	026-233-9110	熊本	拳銃・覚醒剤相談電話	096-384-4444
静岡	ふれあい相談室	054-254-9110	大分	覚せい剤相談コーナー	097-537-8918
富山	警察安全相談	076-442-0110	宮崎	銃器・覚せい剤110番	0985-20-1074
石川	警察安全相談電話	076-225-9110	鹿児島	企業対象暴力・けん銃・薬物相談電話	099-255-0110
福井	覚醒剤相談電話	0776-21-4618		沖縄	麻薬110番
岐阜	警察安全相談室	058-272-9110			

(平成29年 5月2日現在)



<http://www.npa.go.jp>

ようこそ警察庁のホームページへ。  
各都道府県警察のホームページにもリンクしていますので、ご覧ください。

